KENWOOD

デュアルサイズMD3+1チェンジャー/CDレシーバー

DPX-9000MJ

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

使いこなし!
ファンクショナルオペレーション
Functional Operation

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション
EZ Operation

© PRINTED IN JAPAN B64-1465-00 (MC)
00/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 99/12 11 10 9 8 7 6

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

リモコンでも操作できるゾ！

Remote Control

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help ? Operation ? Word

付録

Appendices

使いこなし！　ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう！　オプションズ

Options

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の３つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。
ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。
すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。
別売品を接続しているときにお読みください。

? Operation

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

? Word

マニュアルやディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した［Remote Control］、本機の取り付け方法などを説明した［Appendices］があります。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

共通の操作
ソースにかかわらない共通の操作を表しています。

ディスクの操作
MDまたはCDをプレイする操作を表しています。なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて『ディスク』と呼んでいます。

チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す

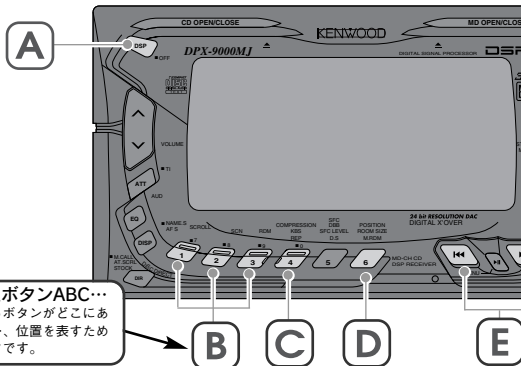
ボタンをチョンと押すことを表します。

１秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。
通常、１秒間押します。また、メモリーに書き込むときには２秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

DSP Control

A

この辺ボタンABC…
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

B C D E

コンプレッションの調整

ダイナミックレンジを圧縮（コンプレッション）して、車内で小さな音を聴きやすくします。

1 DSP調整モードにします

A — DSP — コード書き込み準備

2 コンプレッションレベルを選びます

A — 1秒 DSP

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

押すたびに次の順で切り替わります。

表示される文字/内容

表示	内容
OFF	コンプレッションオフ(初期設定)
STEP 1	コンプレッションレベル小
STEP 2	
STEP 3	コンプレッションレベル大

内容の説明

ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

ポジショ

聴く位置に合

1 DSP調

A

2 ポジシ

D

押すた

Functional Operation

ntrol

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

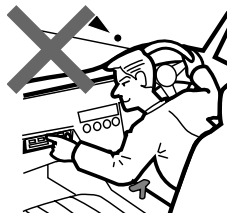
絵表示の例

⚠記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
- ●音量調節などのカーオーディオの操作
- ●FM多重放送の文字情報の閲読

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

⚠注意

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。
●音が出ない
●ディスプレイが表示されない
●異物が入った
●水がかかった
●煙が出る
●変な匂いがする

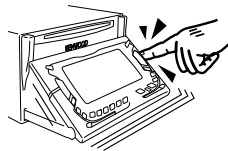
禁 止

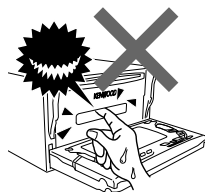
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁 止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

禁 止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。

禁 止

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

禁 止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁 止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

本機に接続できるディスクチェンジャーについて

KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C30, およびKMD-C80は直接接続することができます。

●

KDC-C200、KDC-C300、KDC-C301、KDC-C50、またはKDC-C55を接続するときは、別売品の"CA-DS100"が必要です。別途お買い求めください。また、C705i、C705sr、MD6、MD66を接続するときは、別売品の"CA-KD20"が必要です。別途お買い求めください。
なお、"CA-DS100"または"CA-KD20"を使いディスクチェンジャーを接続した場合には、使用できない機能（マガジンランダムなど）が発生します。

●

CD/MDチェンジャースイッチングユニットKCA-S210A/S200を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続等詳しい説明はKCA-S210A/S200に付属の取扱説明書をご覧ください。

●

KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, またはKMD-C30を接続した場合、これらのディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。また、上記CDチェンジャー以外ではCDテキスト表示を行えません。

●

本機のDNPS機能はディスクチェンジャーに内蔵の記憶機能を使用するのではなく本機内部の記憶機能を使用します。このため、ディスクチェンジャーに記載されているDNPS可能枚数とは関係なく、すべてのディスクの合計で100枚まで記憶することができます。

●

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

●

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp(p.50)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

●

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

● MDやCDが取り出せない。
● MDやCDを正しく入れ直してもボタンやインジケーターの点滅が続く。
● ディスクチェンジャーモードを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに“Aux Mode”と表示される。
● KCA-S210Aが接続されていないときに“Aux Mode”と表示される。

●

操作パネルがスライドした状態のときに異常が起こり閉じられない場合は、操作パネルの上部を引き上げながら下部を押すことにより手動で閉めることができます。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

リモコンの電池について

操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

●

電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。
また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

結露について

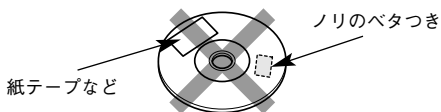
寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDやCDの読み取りができなくなります。
このようなときは、MDやCDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

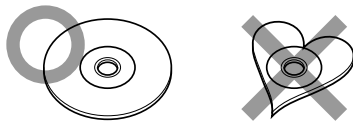
温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDやCDの演奏ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

使用できないCD

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレヤーにかけるとCD が取り出せなくなったり、故障することがあります。

●

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。

●

記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●

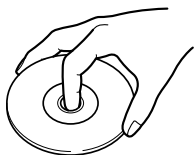
COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの付いているCD以外は使用しないでください。

●

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

CDとMDの取り扱い

CDの取り扱いについて

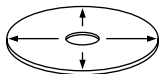
CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにします。
（レーベルが印刷されていない面が記録面です。）

CDの保存

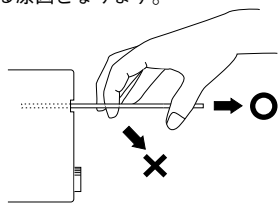
直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。

●

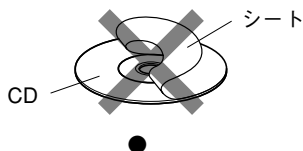
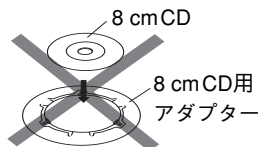
長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

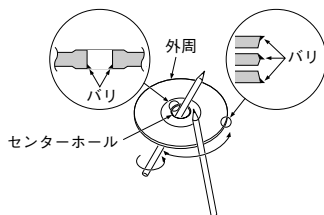
CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。

CD用アクセサリーについて

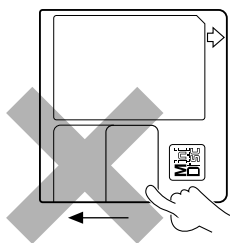
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

●

市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。
本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。
また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。

新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ" がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

MDのお手入れ

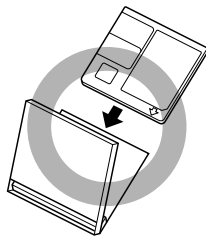
カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。
また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。
シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。

ラベルのはがれかかったMDは

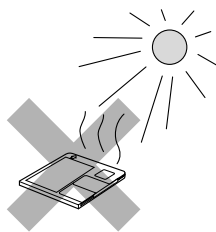
ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。

データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因になります。

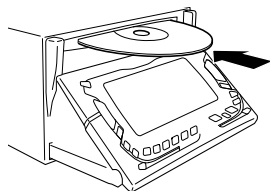
ディスクのプレイは簡単！　ディスクを差し込むだけです。

CDをプレイするときは…

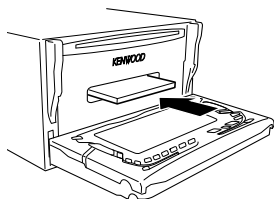
CD OPEN/CLOSE を押して操作パネルをスライドさせ、プレイするCDを差し込みます。
CDが引き込まれ、パネルが閉まります。

CDを取り出すときは…

CD OPEN/CLOSE を押します。
操作パネルがスライドして、CDがイジェクトされます。
CD OPEN/CLOSE をもう一度押すとパネルは閉じます。

CDがイジェクトされないときは、CDが出るまで CD OPEN/CLOSE を押し続けてください。

MDを取り出すときは…

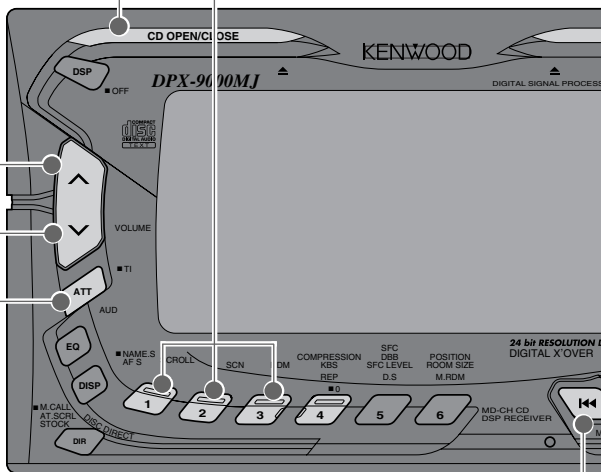
MD OPEN/CLOSE を押して操作パネルをスライドさせ、取り出すMDの番号のボタン（ ～ 3）を押します。
プレイ中のMDを取り出すとFM/AM放送を受信、またはオールオフになります。

- 操作パネルをスライドさせた状態で可能な操作は、イジェクト、音量、ソース選択などだけです。
- スライドさせたパネルに無理な力を加えないでください。

音量を上げます。

音量を下げます。

音量を素早く下げます。
もう一度押すと元の音量に戻ります。

1秒以上押すと、交通情報を受信します。
もう一度、1秒以上押すと元に戻ります。

CD OPEN/CLOSE　KENWOOD　DSP　OFF　DPX-9000MJ　DIGITAL SIGNAL PROCESS　VOLUME　TI　ATT　AUD　EQ　NAME.S AF S　CROLL　SCN　DM　COMPRESSION KBS REP　SFC DBB SFC LEVEL D.S　POSITION ROOM SIZE M.RDM　24 bit RESOLUTION　DIGITAL X'OVER　DISP　M.CALL AT.SCRL STOCK　DISC DIRECT　DIR　1　2　3　4　5　6　MD-CH CD DSP RECEIVER

注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

プレイする曲を選びます。

交通情報の周波数を選びます。

受信する放送局を選びます。
AUTOインジケーターが点灯時は受信状態の良い放送局を自動的に選択できます。
AUTOインジケーターが消えているときは周波数が1ステップ変わります。
（ファンクションセット☞16ページ）

MDをプレイするときは…

（MDが１枚も挿入されていないときまたは収納しているMDがすべてストックポジション（MDの収納場所）にあるとき）

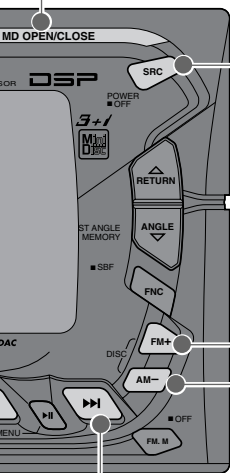
を押して操作パネルを開き、プレイするMDを差し込みます。差し込んだMDがプレイされます。

MDがプレイポジション（MDの再生場所）にあるときにMDを差し込むと、差し込んだMDはプレイされずにストックポジション（MDの収納場所）に収納されます。

チェンジャーにMDを収納するときは…

MDのプレイ中またはMDがプレイポジション（MDの再生場所）にあるときに差し込みます。空いているストックポジション（MDの収納場所）の一番小さい番号から順に、プレイポジションのMDを含めて合計３枚まで収納されます。

MDがプレイポジション（MDの再生場所）にないときにMDを差し込むと、差し込んだMDはストックポジション（MDの収納場所）に収納されずにプレイされます。

本機ではMDを３枚まで挿入してディスクチェンジプレイを楽しむことができます。
またＭＤがすでに３枚挿入されているときでも、４枚目のMDを差し込んでシングルMDプレヤーとして活用することもできます。
（プラスワンプレイ☞20ページ）

MD/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、MD、CD、FM/AM放送、ALL OFFが切り替わります。

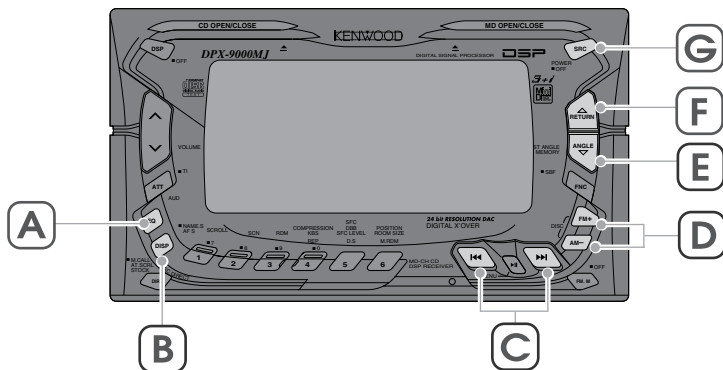
電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになります。
１秒以上押すと、電源がオフになります。

次のMDにチェンジします。

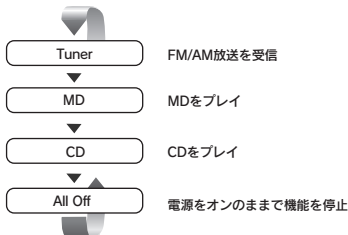
FM放送のバンド（FM1/FM2）を切り替えます。

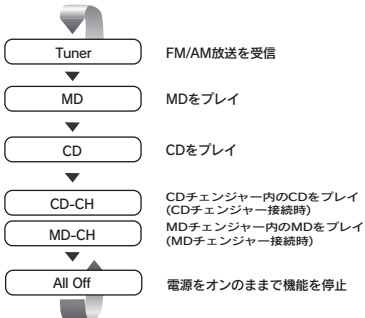
前のMDにチェンジします。

AM放送のバンド（AM1/AM2）を切り替えます。

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

押すたびに次の順で切り替わります。

Tuner	FM/AM放送を受信
MD	MDをプレイ
CD	CDをプレイ
All Off	電源をオンのままで機能を停止

別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります

Tuner	FM/AM放送を受信
MD	MDをプレイ
CD	CDをプレイ
CD-CH	CDチェンジャー内のCDをプレイ (CDチェンジャー接続時)
MD-CH	MDチェンジャー内のMDをプレイ (MDチェンジャー接続時)
All Off	電源をオンのままで機能を停止

オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールをオンにします

BALANCE

2回押すとオーディオコントロールモードになります。

オーディオコントロールはAll Offモード以外のモード中に設定できます。

2 設定する項目を選択します

3 値を選択します

設定できる項目と値は次のとおりです

設定項目	設定値
BALANCE (左右の音量バランス)	L15〜R15
FADER (前後の音量バランス)	F15〜R15
N-F (ノンフェダープリアウト出力レベル)	ーーー〜+10

**プレイするソースを選びます。
また、音量バランスなどを調節します。**

"N-F" 設定はファンクションセットの "PRE-OUT" 項目が "N-F" に設定されているときに選択できます。

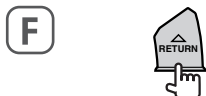
4 オーディオコントロールをオフにします

操作パネル角度調節

操作パネルを見やすい角度に調整します。

パネルをスライドします

押すたびに、操作パネルが１ステップずつ10段階にスライドします。

パネルを元の位置に戻します

- 電源をOFFにするとパネルは閉じた状態になります。再び電源をONにすると調節した角度になります。
- パネルスライド中は、FM/AM放送の音を聞くことはできません。

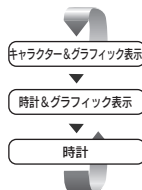
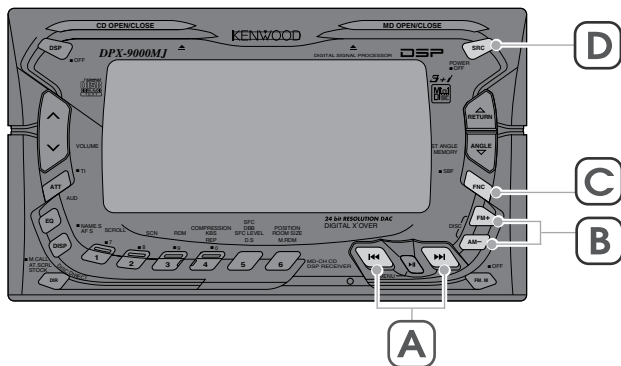
ディスプレイ表示切り替え

ALL OFFモード時にディスプレイへ表示される情報を切り替えます。

1 ALL OFFモードにします

All Off

2 表示を選びます

押すたびに次の順で切り替わります。

ファンクションセット

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定する項目があるモードにします

2 ファンクションセットモードにします

FNCファンクションセット

3 設定する項目を選択します

- 設定項目の詳しい機能説明はHelp(P.56)を参照してください。
- 右表の“条件”の内容が満たされていないと、その項目の表示・設定は行えません。

4 値を選択します

5 ファンクションセットモードを終了します

設定できる項目と値は次のとおりです。

All Offモード時

設定項目	設定値	条件
Beep（ビープ音）	**On**/Off	—
FMダイバーシティ (FMダイバーシティシステム設定)	On/**Off**	—
PRE-OUT (プリアウト出力選択)	**Rear**/N-F	—
文字輝度調整 (ライトスイッチがオンのときのディスプレイの明るさを設定)	01～**04**～13	車両のライトスイッチがON後にファンクションセットモードにする
スペアナ輝度調整 (ライトスイッチがオンのときのスペアナの明るさを設定)	01～**04**～13	車両のライトスイッチがON後にファンクションセットモードにする
CD漢字優先表示 (CDテキストの漢字の優先表示)	**On**/Off	—
MD漢字優先表示 (ディスクタイトルの漢字の優先表示)	**On**/Off	—
D.X'over設定 (デジタルクロスオーバーシス	**On**/Off	—
Amp Cont設定 (外部アンプコントロール)	On/**Off**	—
オープニング画面表示 (電源オン時のモデル名表示)	**On**/Off	—
コード書き込み準備 (セキュリティーコードの登録モード)	登録の方法は18ページをご覧ください。	セキュリティコードが未設定時

（太字は初期設定値）

本機の各種の機能を設定します。

Tuner/MD/CD/CD-CH/MD-CHモード時

設定項目	設定値	条件
HPF-F (フロント低音カット)	**Through**/30/60/90/120/150/180/250(Hz)	D.X'over設定"On"時
HPF-R (リア低音カット)	**Through**/30/60/90/120/150/180/250(Hz)	D.X'over設定"On"時
HPF Slope設定 (低音カットスロープ)	**12**/18/24 (dB/Oct.)	D.X'over設定"On"時
LPF (ノンフェダー高音カット)	**Through**/150/120/100/80/60(Hz)	D.X'over設定"On"、PRE-OUT"N-F"時
LPF Slope設定 (高音カットスロープ)	**12**/18/24 (dB/Oct.)	D.X'over設定"On"、PRE-OUT"N-F"時
Time-Alg F (フロント遅延時間)	**OFF**/0.5～18 (msec.)	D.X'over設定"On"時
Time-Alg R (リア遅延時間)	**OFF**/0.5～18 (msec.)	D.X'over設定"On"時
Time-Alg NF (ノンフェダー遅延時間)	**OFF**/0.5～18 (msec.)	D.X'over設定"On"、PRE-OUT"N-F"時
AMP Control (外部アンプコントロール設定)	**1 (フラット)** / 2 (+6 dB) / 3 (+12 dB)	Amp Cont設定"On"時

（太字は初期設定値）

MD/CD/CD-CH/MD-CHモード時のみ

設定項目	設定値	条件
SCRL (ディスクタイトル/CDテキストオートスクロール)	**On**/Off	チェンジャーのO-Nスイッチが"N"に設定時

（太字は初期設定値）

MDプレイ時とCDプレイ時のそれぞれで設定が可能です。

Tunerモード時のみ

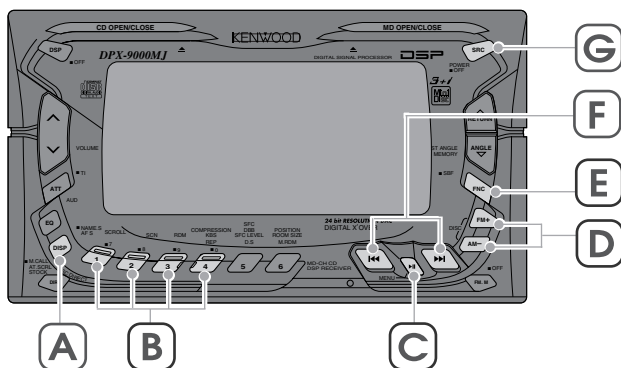
設定項目	設定値	条件
(チューニングモード)	**Auto**/Manual	—
Mono (FM放送モノラルチューニング)	On/**Off**	FM放送受信時
オートメモリースタート準備 (オートメモリー)	登録の方法は24ページをご覧ください。	—

（太字は初期設定値）

FM Multi Control時

設定項目	設定値	条件
FM多重表示継続 (ソースを切り替えたときなどでも文字情報表示を継続します)	**禁止**/許可	—
スクロールタイム (文字表示のスクロール間隔を継続)	1～**2**～5秒	—
自動時刻補正 (FM多重情報による時刻自動補正)	**On**/Off	—
優先表示 (FM多重情報による放送局名表示の優先設定)	**On**/Off	—

（太字は初期設定値）

FM Multi ControlがオンのときはAll Off, Tuner, MD, CD, CD-CH, およびMD-CHモードの設定は行えません。FM Multi Controlをオフにしてから設定を行ってください。

セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。
コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 ALL OFFモードにします

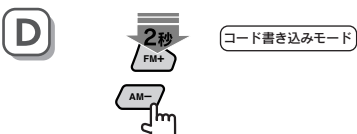
All Off

2 ファンクションセットモードにします

FNCファンクションセット

3 セキュリティコード項目を選択します

コード書き込み準備

4 セキュリティコード入力を開始します

コード書き込みモード

FMボタンまたはAMボタンを“コード書き込みモード”と表示されるまで押し続けます。

5 セキュリティコードを入力します

～
セキュリティコード＊＊＊＊

例：3510の場合

ボタン	1	2	3	4
押す回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

6 セキュリティコードを登録します

セキュリティコード3510　1

7 セキュリティコードを再入力します

～
確認のためセキュリティコードを手順５の方法で再度入力します。
手順５と違うコードを入力すると、手順５の１回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

セキュリティコードを設定すると、電源コードを外したときなどの次に使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになり、盗難防止の手助けとなります。

8 セキュリティコードを再登録します

セキュリティコード書込み中

セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは以下をご覧ください。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコードを入力します

～
2 セキュリティコードを確定します

セキュリティコード OK!

本機が使用可能となります。

セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、再び電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。

時刻調整

時計表示の時刻を合わせます。

1 時計表示を選びます

Clock

2 時刻合わせを開始します

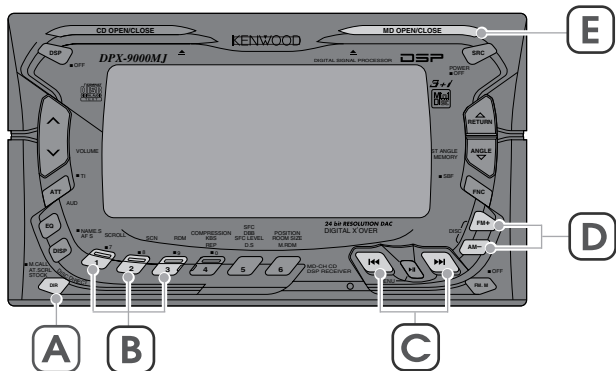
インジケーターが点滅するまで押し続けます。

3 “時”を合わせます

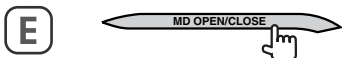
4 “分”を合わせます

5 時刻合わせを終了します

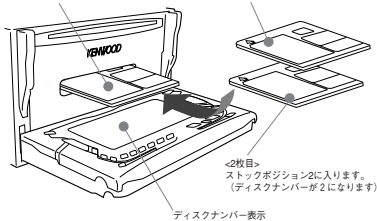
00秒からカウントがスタートします。

MD-Changer/CD Mode

ディスクの収納(MDチェンジャーのみ)

MDを３枚までチェンジャーに収納します。

1 操作パネルを開けます

2 MDを（３枚まで）収納します

MDのプレイ中またはプレイが終わったMDがプレイポジション（MDの再生場所）にあるときに差し込みます（プレイポジションにMDがあるときは、プレイポジションにあるMDのディスクナンバーが点滅します）。空いているストックポジション（MDの収納場所）の一番小さい番号から順に、合計３枚まで収納されます（MDがストックポジションにあるときは、収納されているポジションのディスクナンバーが表示されます）。

例：本機にディスクが入っていないとき

3 操作パネルを閉じます

ボタンのイルミネーション色でMDの状況がわかります。

ディスクナンバーボタン色	MDの状態
赤	プレイポジションにあります。
オレンジ	ストックポジションにあります。
緑	ディスクが挿入されていません。

プラスワンプレイ(MDチェンジャーのみ)

４枚目のMDをプレイします。

1 操作パネルを開けます

2 プレイポジションを空けます

プレイポジションにあるMDがストックポジションに収納されます。

3 ４枚目のMDを差し込みます

４枚目が差し込まれると、操作パネルが自動的に閉まり、MDプレイします。

- MDが４枚セットされているときには、MDの収納、ディスクサーチ、ダイレクトディスクサーチ、ディスクリピートプレイ、ディスクスキャンプレイ、マガジンランダムプレイは行えません。これらを行うときは、４枚目に入れたMDを取り出してください。
- MDが４枚セットされているときには、収納されているディスクナンバー１～３のMDのプレイやイジェクトなどはできません。

MDやCDをいろいろにプレイします。
基本的なMDとCDのプレイ方法はEZ Operationで習得できます。

4 ４枚目のMDを取り出します

操作パネルがオープンして４枚目のMDがイジェクトされます。

４枚目のMDを取り出すと、チューナーモードまたはオールオフモードになります。

5 操作パネルを閉じます

トラックサーチ

順に曲を選びます。

押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭／前の曲へトラックサーチします。

ディスクサーチ(MDチェンジャーのみ)

プレイするディスクを選択します。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。

ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

ダイレクトディスクサーチ

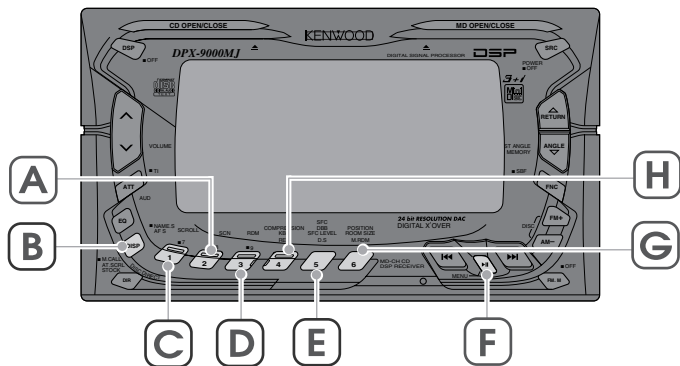
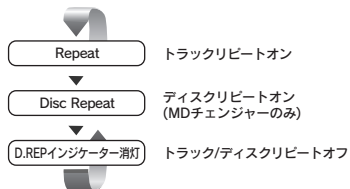
(MDチェンジャーのみ)
プレイしたいMDをダイレクトで選ぶことができます。

1 ダイレクトディスクサーチを開始します

2 ディスクナンバー(1～3のいずれか)を選びます

～
ダイレクトディスクサーチを中止するときは…

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

MD-Changer/CD Mode

トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。

押すたびに、次のようにオン/オフします。

Repeat　トラックリピートオン

Disc Repeat　ディスクリピートオン（MDチェンジャーのみ）

D.REPインジケーター消灯　トラック/ディスクリピートオフ

トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します

Track Scan

2 聴きたい曲のところで…

その曲からプレイされます。
▶II を押してもプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。

もう一度押すとプレイを再開します。

ディスクスキャンプレイ(MDチェンジャーのみ)

チェンジャー内の各ディスクの先頭部分を10秒ずつプレイしてディスクを探すことができます。

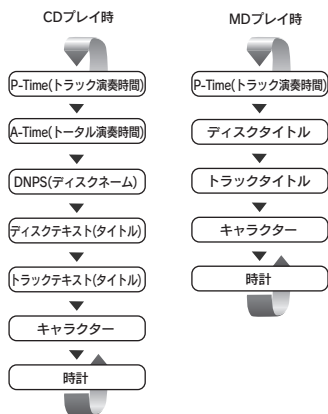
1 ディスクスキャンプレイを開始します

Disc Scan

2 聴きたいディスクのところで…

そのディスクからプレイします。
▶II を押してもプレイされます。

すべてのディスクがスキャンされると、ディスクスキャンプレイは自動的に終了します。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

押すたびに次の順で切り替わります。

CDプレイ時

P-Time(トラック演奏時間)
▼
A-Time(トータル演奏時間)
▼
DNPS(ディスクネーム)
▼
ディスクテキスト(タイトル)
▼
トラックテキスト(タイトル)
▼
キャラクター
▼
時計

MDプレイ時

P-Time(トラック演奏時間)
▼
ディスクタイトル
▼
トラックタイトル
▼
キャラクター
▼
時計

トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。

Random

押すたびに、トラックランダムプレイがオン／オフされます。

を押すと、次の曲の選択を開始します。

マガジンランダムプレイ(MDチェンジャーのみ)

マガジン内のディスクをランダムな順でプレイします。

M-Random

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン／オフされます。

を押すと、次の曲の選択を開始します。

タイトル/テキストスクロール

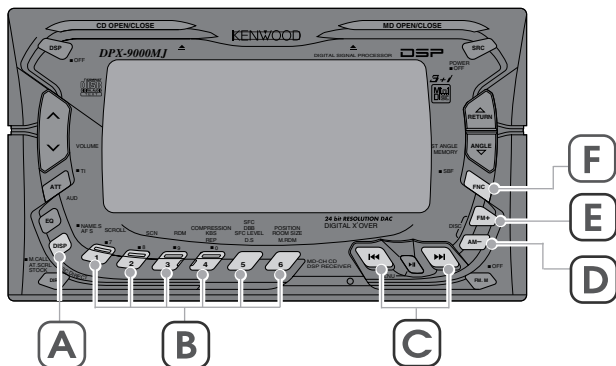
ディスクタイトルやCDテキストをスクロール表示します。

1 タイトル/テキスト表示にします

Disc Title

2 スクロール表示します

ディスクタイトル/CDテキスト表示が1回スクロールします。

ファンクションセットのタイトル/テキストオートスクロールがOffに設定されているときでも、この方法でスクロール表示することができます。

バンド切り替え

FM1とFM2を切り替えます

AM1とAM2を切り替えます

チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

2 放送局を選びます

チューニングモードがAutoのとき（AUTOインジケーターが点灯しています）
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

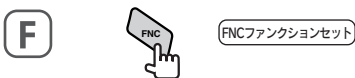
チューニングモードがManualのとき
押すたびに、周波数が１ステップずつ変わります。
（AutoとManualの切り替え方法は“ファンクションセット”☞16ページ）

オートメモリー

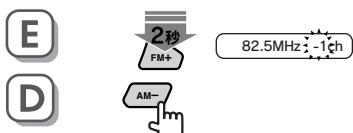
受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

2 ファンクションセットモードにします

FNCファンクションセット

3 オートメモリー項目を選択します

オートメモリースタート準備

4 オートメモリーを開始します

FMボタンまたはAMボタンを周波数表示になるまで押し続けます。
６局メモリーするか、周波数を一周すると自動的にオートメモリーは終了します。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます

2 放送局を選びます

3 メモリーするボタン(1～6のいずれか)を選びます

-6ch

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

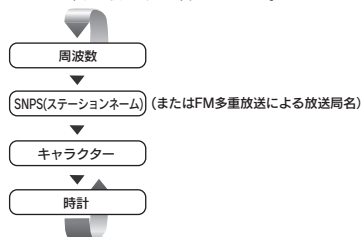
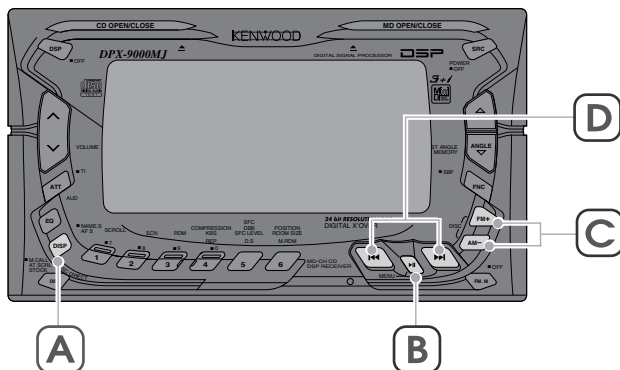
1 バンドを選びます

2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます

-6ch

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

押すたびに次の順で切り替わります。

Name Set/SBF Mode

DNPS（ディスクネームプリセット）/ SNPS（ステーションネームプリセット）

CD/MDやFM/AM放送局に名前を付けます。DNPSは本機のCDプレヤーと別売品のディスクチェンジャーを合わせて100枚まで、FM/AM放送局には30局までステーションネームをセットできます。

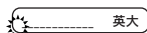
1 名前を付けるディスク/放送局を選びます

時計表示中はDNPS/SNPSは行えません。時計以外の表示を選択しておいてください。

2 DNPS/SNPSを開始します

Name Set

“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

3 文字を入力する位置にカーソルを移動します

4 文字の種類を選びます

漢字の入力方法は次ページをご覧ください。

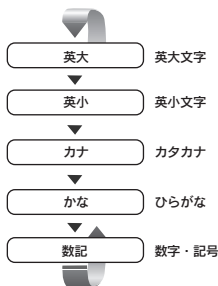
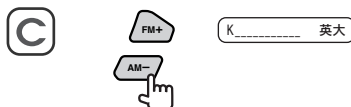
押すたびに次の順で切り替わります。

英大文字

英小文字

カタカナ

ひらがな

数字・記号

5 文字を選びます

6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 SNPSを終了します

- 10秒間操作を中断すると、その時点で名前が確定されます。
- 名前は12文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すとDNPS/SNPSは消去されます。

**FM／AM放送局やCDに名前を付けて表示させることができます（SNPS/DNPS）。
ディスクタイトルやDNPS、SNPSでディスクや放送局を選択することもできます（SBF）。**

漢字の入力

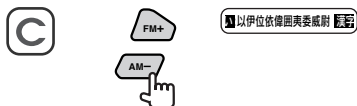
ディスクネーム/ステーションネームに漢字を入力して表示させることができます。

1 DNPS/SNPSを開始します

前ページの手順1～3を行います。

2 漢字入力モードにします

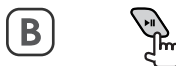
漢字入力表示に切り替わるまで押し続けます。

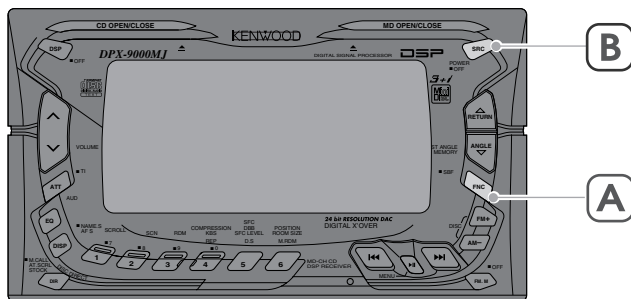
3 漢字の読みを選択します

4 入力する漢字を選ぶ

カーソルが読みの位置から漢字の位置に移動します。
また、 でカーソルを左に移動できます。

漢字列を変えるには....

カーソルが漢字の位置にあるときに押すと、漢字列が変わります。

5 漢字を入力する

カーソルがある位置の漢字が入力され、漢字入力モードが終了します。
さらに漢字を入力する場合は、手順２～5を繰り返します。

Name Set/SBF Mode

チューナーSBF（セレクトバイファイル）

メモリーボタンに記憶されているFM/AM放送局を名前で選択できます。

1 チューナーモードにします

Tuner

2 SBFを開始します

SBF SNPS

“SBF SNPS” と表示されるまで押し続けます。
メモリーボタンに記憶されている放送局名が５秒間ずつ次々と表示されます。

3 聴きたい放送局が表示されたら…

表示中の放送局の受信をします。

- ⏮ または ⏭ でFM/AM放送局名を早送り/早戻しできます。
- FM+ でFM1/2バンドにメモリーされている放送局名に、AM− でAM1/2バンドにメモリーされている放送局名に切り替わります。
- SNPSで名前が登録されていない放送局は周波数が表示されます。

SBFを中止するときは…

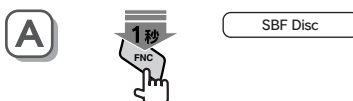
１秒以上押すと中止されます。

ディスク SBF（セレクトバイファイル）

MD/CDを名前で選択します。

1 MD/MD-CH/CD-CHモードにします

MD

2 SBFを開始します

SBF Disc

“SBF Disc”（CDをプレイ中は“SBF DNPS”）と表示されるまで押し続けます。
ディスクチェンジャーに入っているMD/CDのディスクタイトル/ディスクネームとディスクナンバーが５秒間ずつ次々と表示されます。

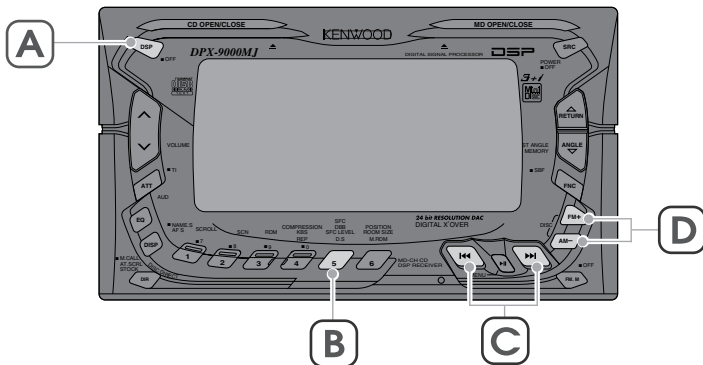
3 プレイしたいディスクが表示されたら…

表示中のディスクのプレイをします。

FM+ または AM− でディスク名を早送り／早戻しできます。

SBFを中止するときは…

１秒以上押すと中止されます。

DSP Control

DSPシステム

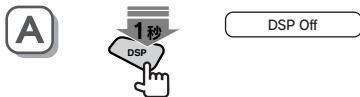
DSP機能を使います

DSPシステムをオンにします

DSP On

DSPシステムの設定や調整はDSPシステムがオンの状態でのみ行えます。

DSPシステムのオンや設定・調整はALL OFFモードでは行えません。ALL OFFモード以外のモードで行ってください。

DSPシステムをオフにします

DSP Off

“DSP Off”と表示されるまで押し続けます。

サウンドフィールドの選択

疑似音場効果（SFC）を呼び出します。

1 DSP調整モードにします

DSP調整モード

DSPシステムがオフのときは２回押します。

2 サウンドフィールドを選びます

押すたびに次の順で切り替わります。

DSP（デジタルシグナルプロセッサー）の設定ができます。
また、設定内容を調整することもできます。

3 DSP調整モードを終了します

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

SFCとDBBの調整

DSPの効果のレベル（“Lev　○○”）、リア側での低音ブースト（“DBB Step○○”）を調節できます。

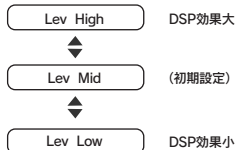
1 DSP調整モードにします

DSP調整モード

DSPシステムがオフのときは２回押します。

2 レベルを調整します

SFCレベルを調整するときは

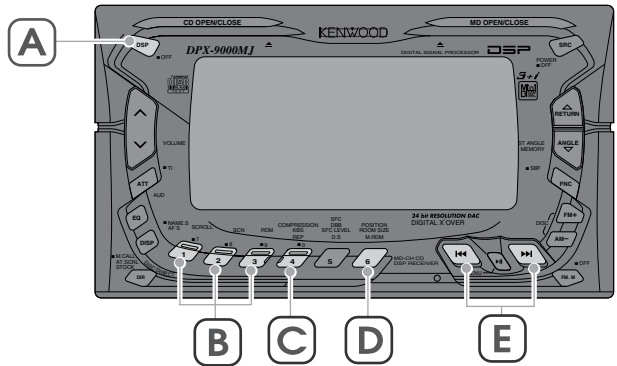
押すたびに次の順で切り替わります。

DBBを調整するときは

押すたびに次の順で切り替わります。

サウンドフィールドが“Bypass”（バイパス）の場合は、SFCとDBBは調整できません。

3 DSP調整モードを終了します

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

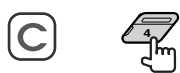
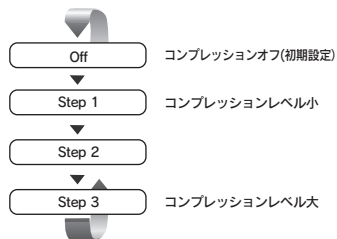
DSP Control

コンプレッションの調整

ダイナミックレンジを圧縮（コンプレッション）して、車内で小さな音を聴きやすくします。

1 DSP調整モードにします

DSP調整モード

DSPシステムがオフのときは２回押します。

2 コンプレッションレベルを選びます

押すたびに次の順で切り替わります。

3 DSP調整モードを終了します

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

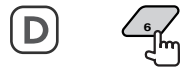
ポジションの選択

聴く位置に合わせてDSPの効果を調節します。

1 DSP調整モードにします

DSP調整モード

DSPシステムがオフのときは２回押します。

2 ポジションを選びます

押すたびに次の順で切り替わります。

バランス/フェダーは中央位置で使用してください。

3 DSP調整モードを終了します

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

ルームサイズの選択

室内サイズやフロント／リアスピーカーの距離に合わせてDSPを調節します。

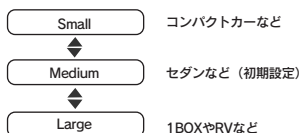
1 DSP調整モードにします

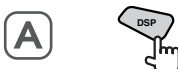
DSP調整モード

DSPシステムがオフのときは２回押します。

2 ポジション選択モードにします

3 ルームサイズを選びます

押すたびに次の順で切り替わります。

ポジションが車室の中心（ALL）の場合には、ルームサイズは選択できません。

4 DSP調整モードを終了します

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のDSP設定を３種類までメモリーしておくことができます。

1 DSPを設定します

SFC、SFCレベル、DBBレベル、コンプレッションレベル、ポジション、ルームサイズを設定します。

2 メモリーするボタン(1～3のいずれか)を選びます

“DSP Memory○” 表示が１回点滅するまで押し続けます。

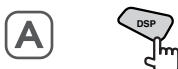
ユーザー設定の呼び出し

メモリーされているユーザー設定はワンタッチで呼び出せます。

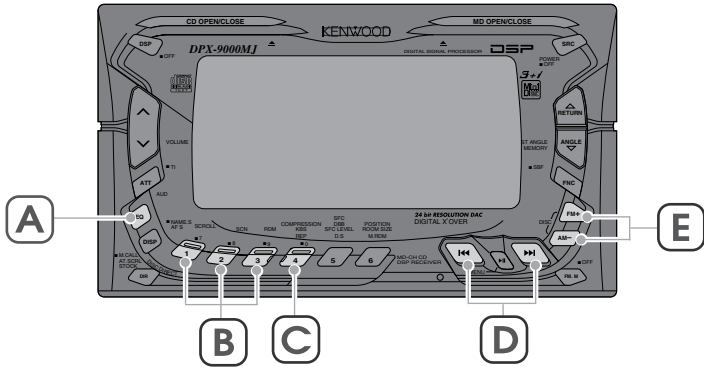
1 DSP調整モードにします

DSP調整モード

2 メモリーボタン(1～3のいずれか)を選びます

DSP Memory1

3 DSP調整モードを終了します

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

Equalizer Control

イコライザーカーブの選択

イコライザーカーブを呼び出します。

1 イコライザー調整モードにします

EQ調整モード

2 イコライザーカーブを選択します

押すたびに次の順で切り替わります。

3 イコライザー調整モードを終了します

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

イコライザーカーブの調整

車や音楽に合わせて、独自のイコライザーカーブに調節できます。

1 イコライザー調整モードにします

EQ調整モード

2 調節する周波数を選択します

3 レベルを調節します

4 イコライザー調整モードを終了します

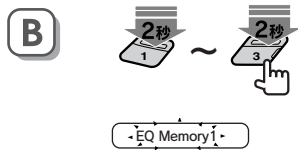
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

イコライザーカーブの設定やスペクトラムアナライザー表示の設定ができます。

ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のイコライザー設定を３種類までメモリーしておくことができます。

1 イコライザーカーブを設定します

2 メモリーするボタン(1～3のいずれか)を選びます

EQ Memory1

“EQ Memory○” 表示が１回点滅するまで押し続けます。

ユーザー設定の呼び出し

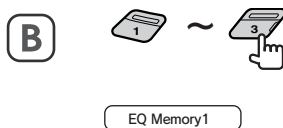
メモリーされているイコライザーカーブはワンタッチで呼び出せます。メモリーボタン（1～3のいずれか）を選びます。

1 イコライザー調整モードにします

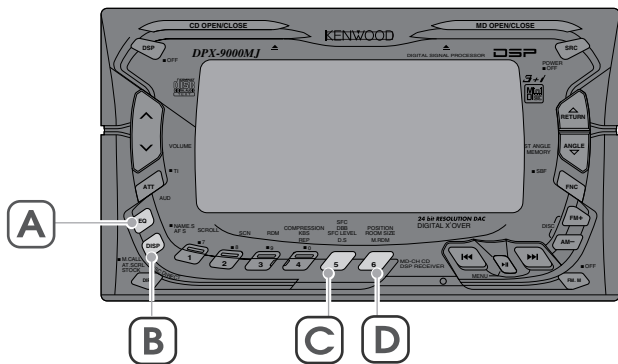
EQ調整モード

2 メモリーボタン(1～3のいずれか)を選びます

～

EQ Memory1

3 イコライザー調整モードを終了します

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

Equalizer Control

アナライザーの切り替え

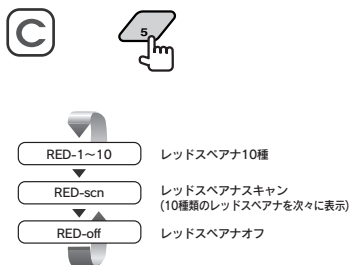
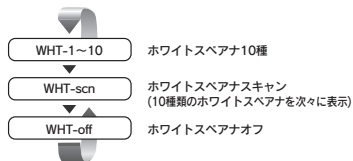
スペクトラムアナライザー表示を切り替えます。

1 イコライザー調整モードにします

EQ調整モード

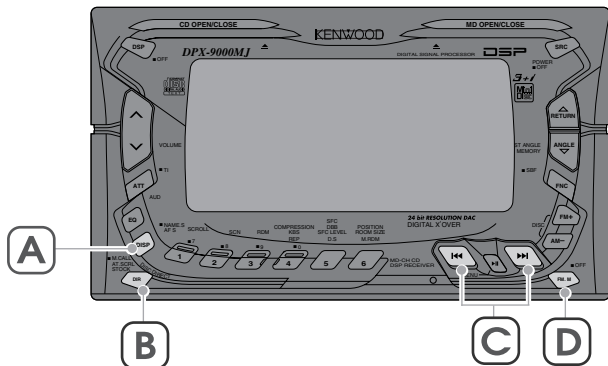
2 アナライザーを選択します

押すたびに次の順で切り替わります。

レッドスペアナだけを切り替えるには

ホワイトスペアナだけを切り替えるには

- レッドスペアナまたはホワイトスペアナを切り替えたときはアナライザーの種類表示は“RED-○○/WHT-○○”と表示されます
- アナライザーが“ドラミング”、“ダイナミクス”、および“ダライビング”のときは、レッドスペアナまたはホワイトスペアナだけを切り替えることはできません。

3 イコライザー調整モードを終了します

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

FM Multi Control

FM多重システム

FM文字多重放送受信機能を使います。

FM多重システムをオンにします

FM多重 On

FM多重情報の受信・蓄積を開始します。
FM多重システムの設定や調整はFM多重システムがオンの状態で行います。

FM多重システムがオンのときは、オートアンテナ仕様車の場合、アンテナが伸びた状態になります。車庫入れなどで縮めたいとき、FM多重システムをオフにしてください。

FM多重システムをオンのままオーディオの操作をするときは

FM多重情報の蓄積を続けながらオーディオの操作が可能になります。“FM MULTI”インジケーターが消え、“⊢⊣”インジケーターのみ点灯します。

FM多重システムをオフにします

FM多重 Off

“FM多重 Off”と表示されるまで押し続けます。

FM多重放送を受信中に、緊急情報番組の放送が始まった場合は、自動的に番組を切り替えて緊急情報番組の情報を受信・表示します。

チューニング

受信するFM多重放送局を選びます。

チューニングモードがAutoのとき（AUTOインジケーターが点灯しています）

受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードがManualのとき

押すたびに、周波数が１ステップずつ変わります。

（ファンクションセット☞16ページ）

FM文字多重放送を受信して番組情報や交通情報などを表示することができます。

AFサーチ

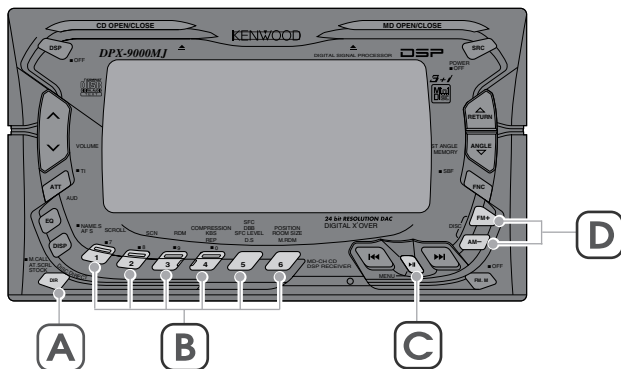
受信状態が悪くなったときに、同じ放送系列の放送局を自動的に探し出します。

AFサーチスタート

AFサーチ機能が使えるのは、受信している放送局から代替放送局の周波数の情報が送られているときです。このような情報を受信すると“AF”インジケーターが点灯します。

FM文字情報オートスクロール

FM文字番組の表示を自動的に切り替えて表示します。

押すたびにFM文字情報オートスクロールがオン/オフします。
オンのときは“FM MULTI”インジケーターが点滅します。

FM文字多重番組の選択

見たい文字情報番組を探します。

1 番組を表示させます

押すたびに、番組が目次の番号順に表示されます。
FM文字情報オートスクロールがオンのときは、番組が目次の番号順に次々と表示されます。

2 番組を選びます

~
手順１で表示された番組の中で、見たい番組の番号を押します。
さらに番組選択が続く場合は、見たい番組の情報が表示されるまで、手順１～２の操作を繰り返します。

3 情報ページを切り替えます

押すたびに、文字情報のページが切り替わります。
FM文字情報オートスクロールがオンのときは、文字情報のページが次々と表示されます。

4 番組の階層を戻します

１階層戻すときは

メインメニューに戻すときは

１秒以上押すと最上層のメニューに戻ります。

情報ページメモリー

表示している情報をページ単位でメモリーします。

1 情報ページを選びます

2 メモリーするボタン(1～6のいずれか)を選びます

①にメモリしました

"○にメモリーしました"と表示されるまで押し続けます。

● 1個のボタンにメモリーされる情報は1ページ分です。1ページは1/4角文字1行と全角文字2行の合計3行で構成されています。
●電源ハーネスを外したり、リセットボタンを押すとメモリーされている情報ページは消去されます。

メモリーページ呼び出し

メモリーしている情報ページを呼び出します。

1 メモリーページ呼び出しモードをオンにします

メモリー呼び出しモード

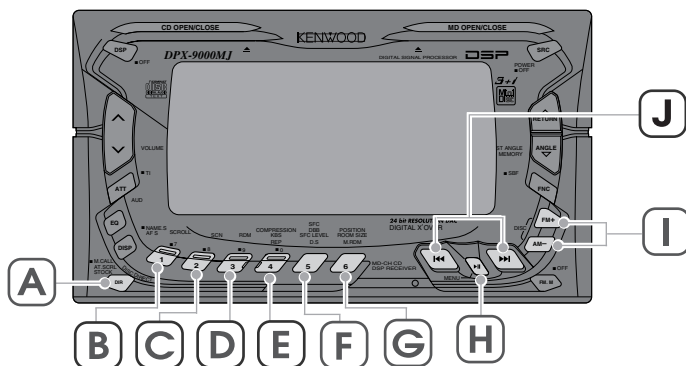
"メモリー呼び出しモード"と表示されるまで押し続けます。

2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます

～

3 表示行を切り替えます

4 メモリーページ呼び出しモードをオフにします

External Disc Control

ディスクサーチ（チェンジャーのみ）

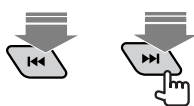
プレイするディスクを選択します。

トラックサーチ

順に曲を選びます。

押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭／前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。

ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

ダイレクトディスクサーチ

(ディスクチェンジャーのみ)

プレイしたいディスクをダイレクトで選ぶことができます。

1　ダイレクトディスクサーチを開始します

ダイレクトディスク選択

2　ディスクナンバー(1～6のいずれか)を選びます

ディスクナンバー7～10を選ぶときは

プレイしたいディスクナンバーが表示されるまで押し続けます。

ダイレクトディスクサーチを中止するときは…

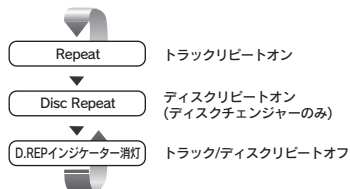
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

別売品のCDチェンジャーなどを接続しているときは、本機からコントロールできます。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。

もう一度押すとプレイを再開します。

トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。

押すたびに、次のようにオン/オフします。

トラックリピートオン

ディスクリピートオン
(ディスクチェンジャーのみ)

トラック/ディスクリピートオフ

トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します

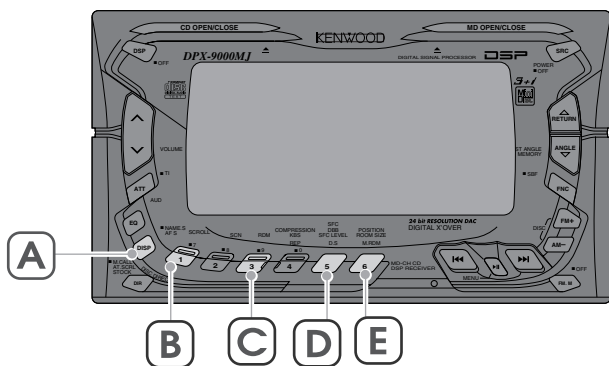
Track Scan

2 聴きたい曲のところで…

その曲からプレイされます。
を押してもプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

External Disc Control

External Disc Control

ディスクスキャンプレイ（チェンジャーのみ）

チェンジャー内の各ディスクの先頭部分を10秒ずつプレイしてディスクを探すことができます。

1 ディスクスキャンプレイを開始します

Disc Scan

2 聴きたいディスクのところで…

そのディスクからプレイします。
▶II を押してもプレイされます。

すべてのディスクがスキャンされると、ディスクスキャンプレイは自動的に終了します。

トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。

Random

押すたびに、トラックランダムプレイがオン／オフされます。

▶▶I を押すと、次の曲の選択を開始します。

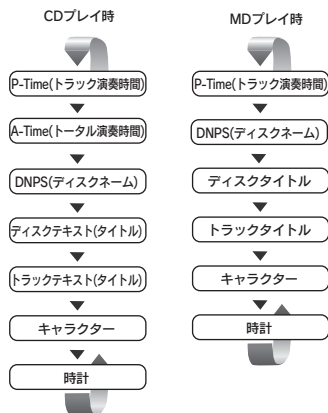
マガジンランダムプレイ（チェンジャーのみ）

チェンジャー内のディスクをランダムな順でプレイします。

M-Random

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン／オフされます。

 を押すと、次の曲の選択を開始します。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

押すたびに次の順で切り替わります。

タイトル/テキストスクロール

ディスクタイトルやCDテキストをスクロール表示します。

1 タイトル/テキスト表示にします

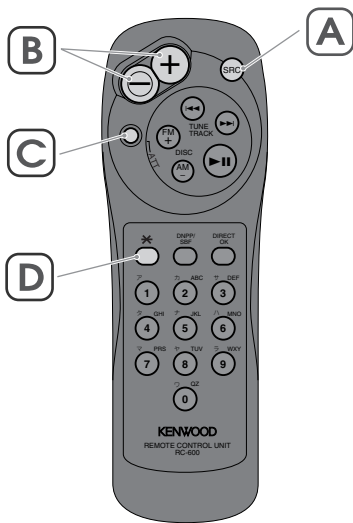
Disc Title

2 スクロール表示します

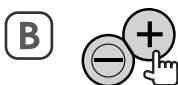
ディスクタイトル/CDテキスト表示が1回スクロールします。

ファンクションセットのタイトル/マニュアルスクロールがOffに設定されているときでも、この方法でスクロール表示することができます。

Remote Control

Common Operation

ソース切り替え

プレイするソースを切り替えます。

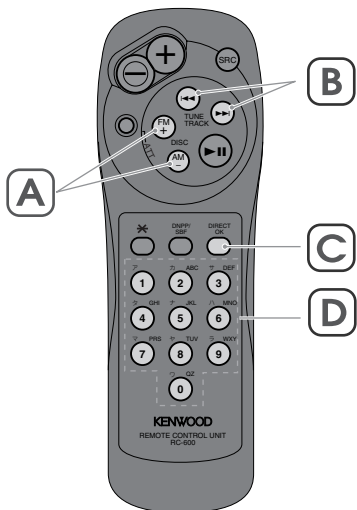
音量調節

音量を調節します。

アッテネーター

ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと元の音量に戻ります。

パネル角度調整

パネルの角度を調整します。

Tuner Operation

バンド切り替え

受信するバンドを切り替えます。

選局

受信する放送局を選択します。

ダイレクトサーチ

このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。

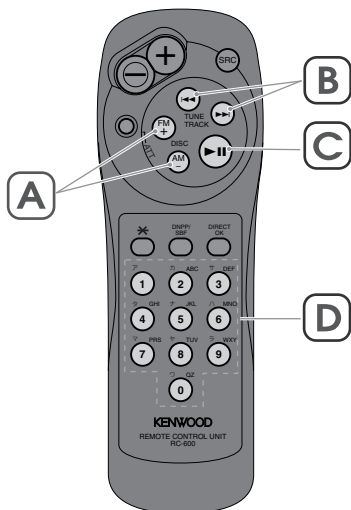
例：76.1MHz(FM)の場合（3桁）
DIRECT OK ⑦⑥①

例：1242kHz(AM)の場合（4桁）
DIRECT OK ①②④②

テンキー

D

メモリーされている放送局の番号を選択します。(①〜⑥)
DIRECTキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

Disc Operation

ディスクサーチ

A

ディスクチェンジャー内でプレイするディスクを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ

B

プレイする曲を選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラックをダイレクトサーチします。

プレイ/ポーズ

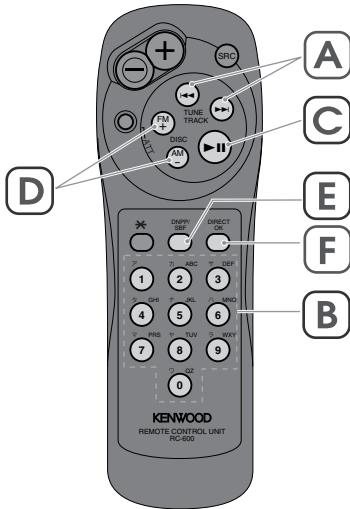
C

プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

テンキー

D

テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。
プレイ中のディスクには無いトラック番号を指定すると最後のトラックを演奏します

SNPS/DNPS + SBF Operation

カーソル(SNPS/DNPSのみ)

カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え(SNPS/DNPSのみ)

入力する文字の種類（英大文字/英小文字/カタカナ/ひらがな/数字・記号）を切り替えます。

テンキー(SNPS/DNPSのみ)

B

文字を入力します。
例：「コ」を入力する場合
（カタカナ）
②（5回押す）
例：「h」を入力する場合
（英小文字）
④（2回押す）

文字選択(SNPS/DNPSのみ)

文字を順に切り替えます。

SBFモード切り替え(SBFのみ)

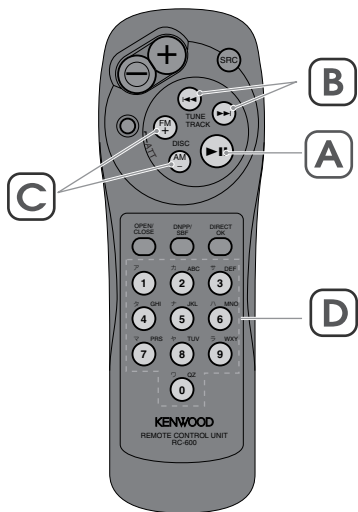
SBFモードになります。
一度押すとSBFモードになり、もう一度押すとSBFモードを解除します。

終了

SNPS/DNPSモードで押すと、登録完了となります。
SBFモードで押すと、選択した放送局やディスクを呼び出します。

FM Multi Operation

メニュー階層戻し

A

メニューの階層を１段階戻します。

選局

B

受信する放送局を選択します。

情報ページ切り替え

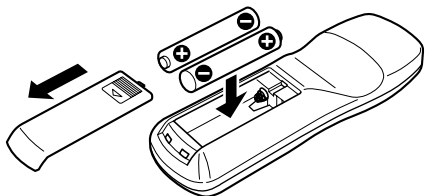
C

文字情報のページが切り替わります。

テンキー

D

メニューを表示中に、番組の番号を選択します。

付属の電池（単四型２本）を＋/ーの向きを正しく合わせて入れてください。

リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。

●電池の向きは正しく合わせてください。

●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池を交換するときは、２本同時に交換してください。

音が出ない/音が小さい

症状	対処
●音量が最小になっている。	●音量を適度に上げてください。
●アッテネーターがオンになっている。	●アッテネーターをオフにしてください。
●ヒューズが切れている。	●コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
●フェダー、バランスが片方に寄っている。	●フェダーやバランスを正しく調整してください。
●入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	●「接続」(62ページ)を見て正しく接続しなおしてください。

操作スイッチを押しても動作しない

症状	対処
●操作パネルがスライドしている。	●操作パネルを閉じてください。
●内蔵のマイコンが誤動作している。	●リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い（音がひずむ)

症状	対処
●音量が大きすぎる。	●音量を適正に調整してください。
●スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	●スピーカーの配線を確認してください。
●スピーカーの配線が間違っている。	●スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

症状	対処
●自動車のアンテナが伸びていない。	●アンテナを十分に伸ばしてください。
●アンテナコントロール電源が接続されていない。	●「接続」(62ページ)を見て正しく接続してください。
●アンテナ入力がきちんと接続されていない。	●アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、CD-CH/MD-CHに切り替わらない

症状	対処
●それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。	●接続されていないソースには切り替わりません。
●別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。	●リセットボタンを押してください。(8ページ)

オーディオコントロールのN-F項目が表示されない

症状	対処
ファンクションセットのPRE-OUT項目がRearに設定されている。	ファンクションセットのPRE-OUT項目をN-Fに設定します。(16ページ)

イコライザーを調整しても効果が現れない。

症状	対処
1つの周波数だけを調整している。	調整した周波数の周囲の周波数も調整してください。

MD/CD/External Disc mode

SRCボタンを押してもディスク（MD/CD）に切り替わらない

症状	対処
ディスクがセットされていない。	プレイするディスクをセットしてください。

ディスク（MD）が入らない

原因	処置
●すでにMDが３枚入っている。	●DIRボタンを押してプレイポジションのMDをストックポジションに移動させた後にMDを挿入してください。
●すでにMDが４枚入っている。	●イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出してから入れてください。
●MDのディスクチェンジ中などのため。	●MD挿入口のカバーが開いてから入れてください。

ディスク（CD）が入らない

原因	処置
すでにディスクが入っている。	入っているディスクを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

原因	処置
MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。	正しい方向で入れてください。

MDが引き込まれても、すぐにイジェクトされる

原因	処置
MDに何も録音されていない。	録音/記録されたMDを入れてください。

ディスク（MD/CD）のプレイ中に振動で音飛びする

原因	処置
●取り付け角度が30゜を超えている。	●30゜以下になるように取り付けしなおしてください。
●取り付けが不安定になっている。	●しっかりと取り付けしなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

原因	処置
●CDが裏返しである。	●レーベル面を上にして入れなおしてください。
●CDが異常に汚れている。	●「CDの取り扱い」を見て、CDをクリーニングしてください。
●結露している。	●しばらく放置してから使用してください。(9ページ)
●CDが内部的に検出されていない。	●リセットボタンを押してCDを取り出しから、再度CDを挿入してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

原因	処置
トラックランダムプレイがオンになっている。	トラックランダムプレイをオフにしてください。

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

原因	処置
トラックリピートがオンになっている。	トラックリピートをオフにしてください。

曲の先頭しかプレイされない

原因	処置
トラックスキャンプレイがオンになっている。	トラックスキャンプレイをオフにしてください。

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

原因	処置
ディスクリピートプレイがオンになっている。	ディスクリピートプレイをオフにしてください。

曲が順にプレイされない

原因	対処
トラックランダムプレイがオンになっている。	トラックランダムプレイをオフにしてください。

ディスクが順に演奏されない

原因	対処
マガジンランダムプレイがオンになっている。	マガジンランダムプレイをオフにしてください。

CDがイジェクトできない

原因	対処
ディスクがイジェクト途中で止まっている。	CD OPEN/CLOSEボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

文字がスクロールされない

原因	対処
●情報文字数が12文字以下のため ●ディスクネームを表示しているため	●表示部に情報文字がすべて表示されている場合はスクロールされません。 ●スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

All Offモードにすると CDが１曲目の演奏に戻る

原因	対処
ファンクションセットのCD漢字優先表示項目を変更した。	CD漢字優先表示の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。

ダイレクトディスクサーチができない

原因	対処
ディスクが１枚しか入っていない。	ディスクを２枚以上挿入してください。

MDでディスクサーチ、ダイレクトディスクサーチ、マガジンランダム、ディスクスキャン、ディスクリピートができない

原因	対処
ディスクが４枚入っている。	ディスクを１枚イジェクトしてください。

マガジンランダム、ディスクスキャンプレイができない

原因	対処
ディスクが１枚しか入っていない	ディスクを２枚以上挿入してください。

Name Set / SBF

DNPSができない

原因	対処
本機またはKMD-C30でMDをプレイしている。	本機およびKMD-C30ではMDにDNPSはできません。

DNPS、SBFができない

原因	対処
ディスクスキャン、マガジンランダムがオンになっている	ディスクスキャン、マガジンランダムをオフにしてください。

SNPS表示にしても“NO NAME”と表示される

原因	処置
●ステーションネームが登録されていない。 ●ファンクションセットの“優先表示”を“Off”に設定したため。	●ステーションネームを登録してください。 ●“優先表示”を“On”に設定するか、ステーションネームを登録してください、

タイトル表示に切り替えても“NO TITLE”と表示される

原因	処置
ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキストが記録されていない。	ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキストが記録されたディスクをプレイしてください。

登録したはずのステーションネームが消えた

原因	処置
●31局目のステーションネームを登録した。 ●本機をバッテリーから外したため。	●登録できるステーションネームは30局分です。 ●本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

原因	処置
●101枚目のディスクネームを登録した。 ●本機をバッテリーから外したため。	●登録できるディスクネームは本機のCDプレヤーとCD/MDチェンジャーを合わせて100枚分です。 ●本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

ディスクネームがまちがって表示される

原因	処置
総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。	識別する方法はありません。

SBFで名前が表示されない

原因	処置
ステーションネームやディスクネームが登録されていない。	ステーションネームやディスクネームを登録してください。

“No Disc”、“No Access”と表示される

原因	処置
●プレヤーやマガジンにディスクが入っていない。 ●プレヤーやマガジンに入っているディスクを一度もプレイしていない。	●ディスクを入れてください。 ●ディスクスキャンを行うなどして、ディスクをプレイしてください。

DSP Control

DSP効果が得られない

原因	処置
●２スピーカーシステムになっている。 ●フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。 ●スピーカーの極性が逆に接続されている。	●「接続」(62ページ)を見て正しく接続してください。
●フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。	●フェダーやバランスを正しく調整してください。

Nuance、DBBが調整できない

原因	処置
●コンプレッション調整モードまたはポジション選択モードになっている。	●“5”ボタンを押してサウンドフィールド選択モードにしてください。
●サウンドフィールドが“Bypass”に設定されている。	●サウンドフィールドを“Bypass”以外に設定してください。

ルームサイズの調整ができない

原因	処置
ポジションが“ALL”に設定されている。	ポジションを“ALL”以外に設定してください。

FM Multi Control

文字情報が表示できない

原因	処置
●受信中の放送局がFM文字多重放送局ではない。 ●文字多重放送の休止中。 ●放送局の受信状態が悪い。	●ほかの放送局を受信してください。
●空白のページを表示中のため。	●表示するページを替えてください。

文字がスクロール表示されない

原因	処置
ファンクションセットの“スクロールタイム”が4秒または5秒に設定されているため。	スクロールするタイミングとFM多重情報が更新されるタイミングとが重なるとスクロール表示できないことがあります。

オートチューニングして放送局を受信しても情報を表示できない

原因	処置
FM多重放送局以外を受信した。	オートチューニングはFM多重放送局だけを探す機能ではないためFM多重放送局以外も受信します。再度オートチューニングを行い、ほかの放送局を受信してください。

FM多重の操作になり、オーディオの操作ができない

原因	処置
FM多重システムコントロールがオンになっている。	FM.Mボタンを押してFM多重システムコントロールをオフにしてください。

FM多重システムコントロールオン時にSRCボタンをしてもオーディオの操作に切り替わらない

原因	処置
ファンクション設定のFM多重表示継続が“許可”になっている。	ファンクション設定のFM多重表示継続を“禁止”にするか、FM.Mボタンを押してFM多重システムコントロールをオフにしてからオーディオの操作をしてください。(16ページ)

Function Control

文字輝度調整、スペアナ輝度調整項目が表示されない

●車両のライトスイッチがオフになっている。
●イルミネーションコードが接続されていない。

●車両のライトスイッチをオンにしたのち、再度ファンクションセットモードをオンにしてください。
●「接続」(62ページ)を見て正しく接続してください。

HPF-F、HPF-R、HPF Slope設定、Time-Alg F、Time-Alg.R項目が表示されない

D.X'over設定項目がOffに設定されている。

D.X'over設定項目をOnに設定してください。

LPF、LPF Slope設定、T-Alg NF項目が表示されない

●D.X'over設定項目がOffに設定されている。
●PRE-OUT項目がRearに設定されている。

D.X'over設定項目をOn、PRE-OUT項目をN-Fに設定してください。

AMP Control項目が表示されない。

AMP Control項目がOffに設定されている。

AMP Control項目をOnに設定してください。

SCRL項目が表示されない

●使用しているディスクチャンジャーに“O-N”スイッチがない。
●使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。

●“O-N”スイッチがあるディスクチェンジャーをご使用ください。
●ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

ノンフェダー出力にハイパスフィルターがかかる。

リア出力にハイパスフィルターをかけていた。

電源を一度オフにしてからオンにしてください。

FM多重システムの項目しか表示されない

FM多重システムがオンになっているため。

FM多重システムをオフにしてください。(38ページ)

セキュリティコード項目が表示されない。

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

Beep
（ビープ）
ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離したときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

HPF-F/HPF-R
（フロントハイパスフィルター/リアハイパスフィルター）
サブウファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。
設定した周波数より低い音域をカットします。“Through”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

HPF Slope設定
（ハイパスフィルタースロープ設定）
HPF-F/HPF-Rで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。
1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。
スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

LPF
（ローパスフィルター）
ノンフェダー出力から高音を削除することができます。ノンフェダー出力をサブウーファー用として使用するときに、この機能で低域のみの音にすることができます。
設定した周波数より低い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“Through”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF Slope設定
（ローパスフィルタースロープ設定）
LPFで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。
1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

Time-Alg F/Time-Alg R/Time-Alg NF
（フロントタイムアライメント/リアタイムアライメント/ノンフェダータイムアライメント）
フロント、リア、ノンフェダーから出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。それぞれ細かい設定が可能なため、車種やスピーカー取り付け位置にとらわれずに最適な効果が得られます。
Time-Alg Fは音像が前方奥に引き込み、広がり感が得られます。
Time-Alg RやTime-Alg NFは前方定位や低音間増強、臨場間の向上などの効果が得られ、リアスピーカー/サブウーファーの音集性が向上します。

AMP Control
（アンプコントロール）
EXT.CONT.コードで接続した別売品のアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。
変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

Auto Scroll
（オートスクロール）
ディスクタイトルやCDテキストが長いためディスプレイ部分では表示しきれないときはスクロールして表示されます。
この機能を“On”に設定しておくと、このスクロール表示を繰り返し行い、“Off”に設定しておくと表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。設定はCDプレイ時とMDプレイ時とで別々に設定できます。

チューニングモード
放送局の探し方を設定することができます。
“Auto”に設定しているときに⏮/⏭ボタンを押すと放送局を自動的に見付け出し、“Manual”に設定しておくと1ステップずつ周波数を変えることができます。

PRE-OUT
（プリアウト）
リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェダー調整に影響されない出力（ノンフェダー出力“N-F”）に切り替えることができます。フェダー調整に影響されないのでサブウーファー用の出力に活用できます。

文字光度調整/スペアナ光度調整
車両のライトスイッチをオンにしたときの本機の文字/スペアナ表示部の明るさを設定しておくことができる機能です。

CD漢字優先表示/MD漢字優先表示
CDテキストやディスクタイトルなどが漢字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示（Onに設定）するか、漢字をカタカナ、ローマ字に変換して表示（Offに設定）するかの設定ができます。

D.X'over設定
（デジタルクロスオーバー設定）
ファンクション項目のHPF-F、HPF-R、HPF Slope設定、LPF、LPF Slope設定、Time-Alg F、Time-Alg R、およびT-Alg NFの調整内容を有効（Onに設定）にするか、無効（Offに設定）にするかの設定ができます。
これらの処理をデジタル処理することによりアナログとは違い、周波数特性のバラツキや音質劣化を解消することができ、24dB/Oct.という急傾斜の減衰スロープを実現しています。

オープニング画面表示
電源をオンにしたときの、本機のモデル名表示の有無を設定できます。

セキュリティコード
セキュリティコードを設定しておくと、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

Mono
（モノラル）
この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。
受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなるときがあります。

FM多重表示継続
FM多重システムがオンのときに、この機能を“許可”に設定しておくと、オーディオの操作に移行してもFM多重情報の表示を続けことが可能になります。

自動時刻補正
放送局の中には時刻情報をFM多重で送信している局があります。この時刻情報を利用して、本機内蔵の時計を常に補正する機能です。

優先表示
Tuner Mode中にディスクプレイ表示を“ステーションネーム”にしているとき、この機能で“SNPSで登録した名前”または“FM多重情報で送られてくる放送局名”とに切り替えることができます。
“On”に設定すると“FM多重情報で送られてくる放送局名”、“Off”に設定すると“SNPSで登録した名前”を表示します。

AFサーチ
（エーエフサーチ）
FM多重情報として送られてくる代替放送局の周波数情報から、一番受信状態の良い放送局を自動的に選び出して受信する機能です。
代替放送局とは、同じ放送局系列（ネットワーク）で同一のプログラムをオンエアしている放送局です。

FMダイバーシティ
２本のFMアンテナから一番受信状態の良いアンテナを瞬時に選び出し、自動的に常に受信状態の良いアンテナに切り替えるシステムです。
車両側で２本のアンテナに対応されている場合もありますが、別売品の汎用ダイバシティ変換プラグ“CA-83U”などを使用すると、このFMダイバーシティシステムを未対応車でも活用することができます。詳しくはカタログなどをご覧ください。

ディスクチャンジャー
外部接続された別売品の、CDチェンジャー(KDC-C310, KDC-C306など)、MDチェンジャー（KMD-C80, KMD-C30）です。本機内蔵の3+1MDチェンジャーを指すこともあります。

ストックポジション プレイポジション
本機内蔵のMDチェンジャーには、ストックポジションとプレイポジションがあります。
普段MDを収納して保管しておくところがストックポジションで、実際にMDを演奏する場所がプレイポジションです。MDは一旦ストックポジションに収納され、演奏するときにストックポジションからエレベーターでプレイポジションに移され再生されます。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

EJECT ： ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など

No Disc ： ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。

Aux Mode ： 別売品のKCA-S200/S210AのCH1またはCH2端子にディスクチェンジャーが接続されていない。

Error 04 ： ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
➡ほかのディスクを使用してください。

Error 77 ： 何らかの原因で正常に動作していない。
➡本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

Mecha Error ： ●ディスクマガジンに異常がある。
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

H-HOLD ： 本機のMDプレヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➡本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

No Name ： ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。

No Title ： タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。

No Text ： CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。

No Track ： 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
➡ほかのディスクを使用してください。

Blank Disc ： 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
➡ほかのディスクを使用してください。

Error 12 ： 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
➡データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。

： CDプレヤーが正常に動作していない。
➡CDを取り出しから、CDを入れなおしてください。

1～4ボタンが赤色と緑色とに交互に点滅
： MDプレヤーが正常に動作していない。
➡MDをすべて取り出してから、MDを入れなおしてください。

FM多重放送の受信状態を以下のように表示します。

データを集めています： 文字情報を蓄積中です。
➡ この表示のままFM文字情報表示に切り替わらないときは、FM文字多重放送局からメニューデータが発信されていない場合があります。ほかの放送局を受信してみてください。

しばらくお待ち下さい： FM文字多重放送局か確認中です。

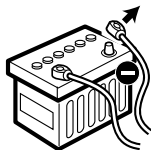
受信できません： FM文字多重放送局ではない。
受信状態が悪いため文字情報を受信できない。

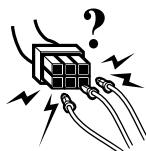
取り付け時のご注意

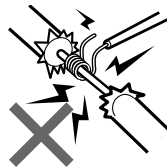
⚠警告

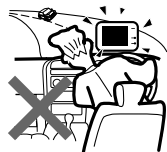
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。

実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。

実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

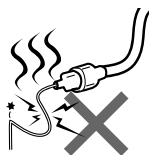
禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

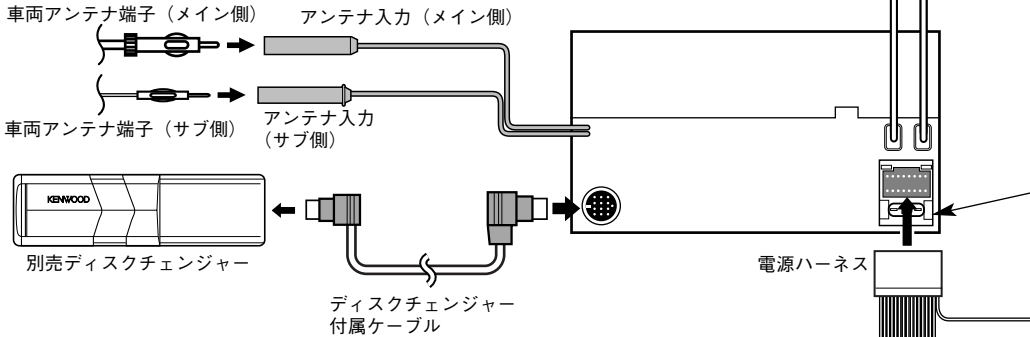
本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

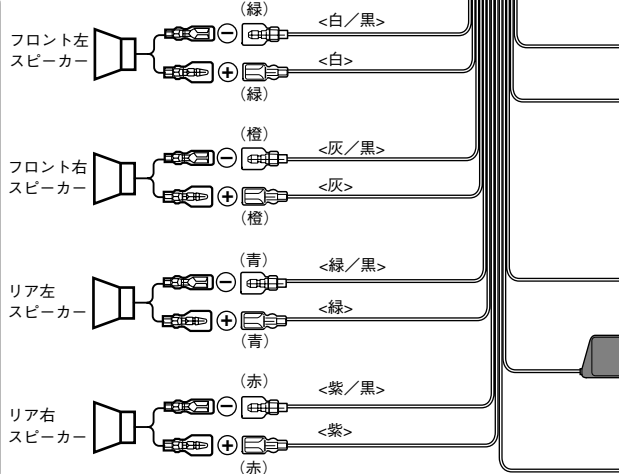
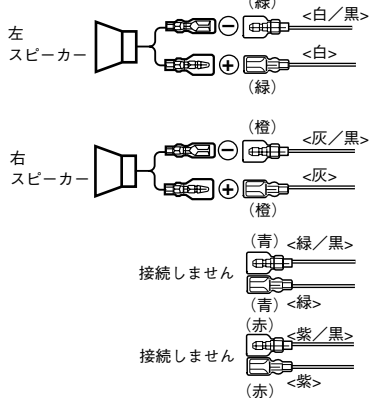
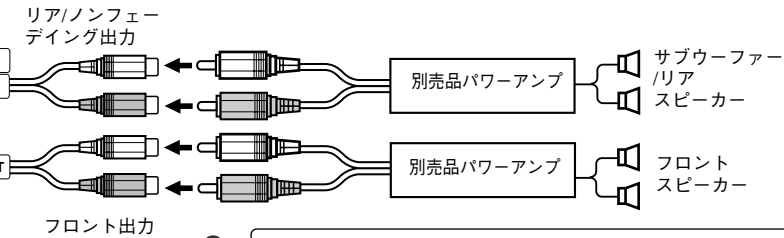
事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実 施

1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをDPX-9000MJに接続します。
5. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
6. 本機のリセットボタンを押します。

- KDC-C310、KDC-C306、KDC-C210、KDC-C206、KMD-C30を接続する場合は、ディスクチェンジャーのO-Nスイッチを“N”に設定してください。
- MD6、MD66、C705i、C705srを接続する場合はCA-KD20が必要です。

2スピーカー時のスピーカー接続方法

ダイバシティアンテナの接続のしかた

ダイバシティ対応車はサブアンテナ端子を接続できます。アンテナ端子の形状が異なる場合は別売品の変換コードが必要です。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。

ダイバシティ未対応車へは

別売品の汎用ダイバシティ変換プラグ"CA-83U"と汎用 のFMアンテナを追加すると、本機のダイバシティシステムを活用することができます。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。

ヒューズ（10A）

注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、**ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。**規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

アンテナコントロール（青）
ANT CONT
オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

パワーコントロール（青/白）
P.CONT
別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

ラインミュート入力（茶）
LINE MUTE
ナビゲーションシステムのラインミュート端子に接続してください。

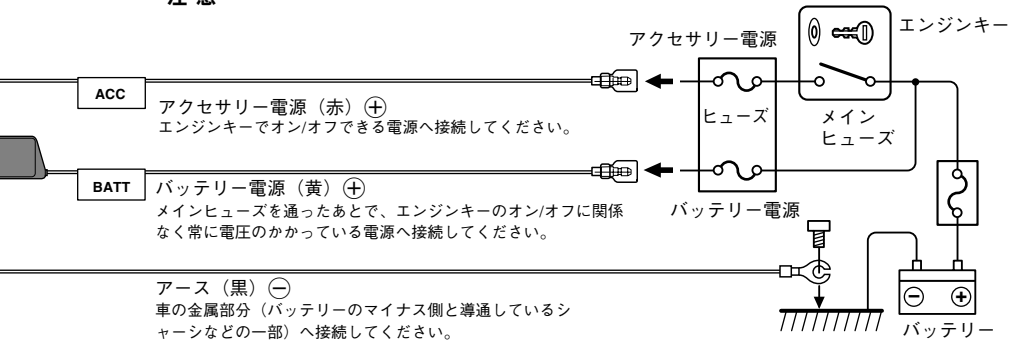
イルミネーション（橙）
ILLUMI
車両のイルミネーション電源端子に接続してください。

外部アンプコントロール（桃／黒）
EXT.CONT
外部アンプの外部アンプコントロール（"EXT.AMP.CONT."）端子に接続してください。

注意

このコードはアンプの音質などを本機からコントロールするためのものです。パワーアンプの電源のオン/オフをコントロールするコードは上記“パワーコントロール（青/白）”です。

エンジンキー
アクセサリー電源
ACC
アクセサリー電源（赤）⊕
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。
ヒューズ
メインヒューズ
BATT
バッテリー電源（黄）⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。
バッテリー電源

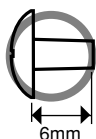
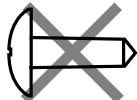
アース（黒）⊖
車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。
バッテリー

取り付け

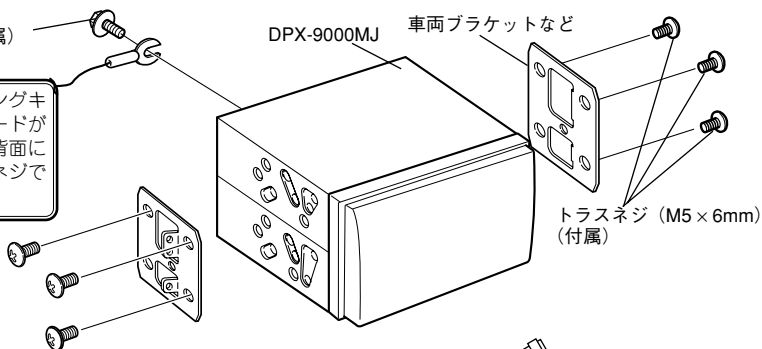
付属のネジ（M5×6mm）6本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

●取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

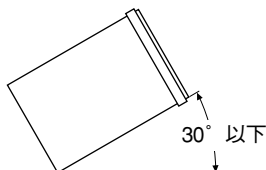
●取り付け前にCDやMDで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/イジェクトを行ってください。

付属取付ネジ　　その他のネジ

6mm

付属ネジ一覧

ネジ	数量
トラスネジ（M5×6mm）	6
セムスネジ（M4×8mm）	1

注意

本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。

30°以下

別売のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより､車にベストフィットした取り付けができます。
キットは取り付ける車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買上げの日より **1 年**です。

修理を依頼されるときは

「Help Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。（別紙"ケンウッド全国サービス網"をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
  （本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- **技術料**：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- **部品代**：修理に使用した部品代です。
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
実用感度（S/N:30 dB）	9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω)
周波数特性（±3.0 dB）	30 Hz～15 kHz
S/N比	75 dB (MONO)
選択度（±400 kHz）	≧80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dBμ (25 μV)

MDプレヤー部

レーザー	GaAlAs(ダブルヘテロダイオード, λ=780 nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	31 Level ⊿Σ
回転数	400～900 rpm（線速度一定）
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz～20 kHz (±1 dB)
高調波歪率	0.005 % (1 kHz)
S/N比	100 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	96 dB
ステレオセパレーション	90 dB

CDプレヤー部

レーザー	GaAlAs(ダブルヘテロダイオード, λ=780 nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500～200 rpm（線速度一定）
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz～20 kHz (±1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	93 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
ステレオセパレーション	85 dB

オーディオ部

最大出力	44 W × 4
定格出力	28 W × 4 (4 Ω, 1kHz, 10%THD)
プリアウトレベル	1500 mV/10 kΩ
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下

DSP/イコライザー部

A/Dコンバーター＆D/Aコンバーター	3次⊿Σ方式20bit128倍オーバーサンプリング
イコライザー中心周波数	60/120/250/500/1k/2k/4k/8k/16k Hz
可変範囲	±12 dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11～16 V)
最大消費電流	10.0 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）	178 × 100 × 155 mm
質量（重さ）	3.1 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ（M5 × 6mm）	6本
セムスネジ（M4 × 8mm）	1本
リモコン	1個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
　お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335　〒153-0042　東京都目黒区青葉台3-17-9
　　　　　　　（大阪）電話(06)6357-5335　〒534-0024　大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
　　　　　　　（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。）
●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
　最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。